



当社は、HS財団動物実験認証施設です



短期で評価可能な試験

今回は、試験開始から報告まで比較的短い期間で終了できる試験リストを紹介します。下記に示しました試験は、早期に開始すれば2020年3月中に終了します。ご興味のある試験については、是非お問い合わせください。

【中枢神経系】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
認知症	βアミロイド脳室内単回投与モデル	マウス	Y迷路試験、受動回避試験
	αシヌクレイン脳室内単回投与モデル	マウス	Y迷路試験
精神疲労	水浸飼育モデル	ラット	水泳時間
疼痛	カラゲニン誘発疼痛過敏モデル	ラット、マウス	触刺激(逃避閾値)
	カプサイシン貼付疼痛過敏モデル	ラット	熱刺激(逃避潜時)、触刺激(逃避閾値)
	酢酸誘発腹痛モデル	ラット、マウス	ライジング回数
	アセチルコリン誘発腹痛モデル	マウス	ライジング回数

【炎症・免疫疾患】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
浮腫	クロトン油誘発耳浮腫モデル	ラット、マウス	耳重量、耳介厚
	カラゲニン誘発肢浮腫モデル	ラット	浮腫率
痒覚	compound 40/80誘発痒みモデル	マウス	搔痒行動
	ヒスタミン誘発痒みモデル	マウス	搔痒行動
	サブスタンスP誘発痒みモデル	マウス	搔痒行動
アレルギー性皮膚炎	PiCl誘発IV型アレルギー性皮膚炎モデル	マウス	耳介厚
	DNFB誘発アレルギー性皮膚炎モデル	ミニプタ	皮膚炎スコア
アレルギー性結膜炎	クロトン油誘発アレルギー性結膜炎モデル	ラット	眼瞼重量
アレルギー性鼻炎	トルエンジイソシアネート誘発アレルギー性	モルモット	鼻汁量
乾癬	イミキド誘発乾癬モデル	マウス	皮膚炎スコア
高熱	酵母誘発発熱モデル	ラット	体温

【腎・泌尿器系】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
急性腎障害	虚血性急性腎障害モデル	ラット、マウス	生化学的検査
		ラット	尿検査
	造影剤誘発急性腎障害モデル	ラット	生化学的検査、尿検査

【代謝系】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
肝障害	四塩化炭素誘発肝障害モデル	ラット	生化学的検査(肝臓酵素)
	アルコール誘発肝障害モデル	ラット	生化学的検査(肝臓酵素)
	ガラクトサミン誘発急性肝不全モデル	ラット	生化学的検査(肝臓酵素)
	アセトアミノフェン誘発肝障害モデル	マウス	生化学的検査(肝臓酵素)

試験開始から最終報告書提出までの期間は3~4カ月です。



【消化器系】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
逆流性食道炎	幽門部結紮逆流性食道炎モデル	ラット	炎症スコア
胃潰瘍	水浸拘束ストレス誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
	塩酸・エタノール誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
	エタノール誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
	酢酸誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
	インドメタシン誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
	アスピリン誘発胃潰瘍モデル	ラット	胃粘膜障害の長さ
過敏性腸症候群	拘束ストレス誘発過敏性腸症候群モデル	ラット	排便回数、腹筋収縮回数
下痢	ヒマシ油誘発下痢モデル	ラット	排便重量、便性状
	ピコスルファートNa誘発下痢モデル	ラット	排便重量、便性状
	センシッド誘発下痢モデル	ラット	排便重量、便性状
便秘	ロペラミド誘発便秘モデル	ラット、マウス	排便重量、便性状
痔疾	クロトン油誘発痔疾モデル	ラット	直腸重量

【筋肉・骨】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
サルコペニア	尾懸垂モデル	ラット、マウス	筋肉重量、トレッドミル試験
運動疲労	運動負荷モデル	ラット	生化学的検査（乳酸値）、筋肉中乳酸値

【感染】

小分類	試験系	使用動物	評価方法等
インフルエンザウイルス感染	インフルエンザウイルス肺感染モデル	マウス	病変度観察、ウイルス学的検査、NK活性
	薬剤感受性試験（インフルエンザウイルス）	<i>in vitro</i>	ブランク減少法
ロタウイルス感染	ロタウイルス消化器感染モデル	マウス	病変度観察、ウイルス学的検査、NK活性
	薬剤感受性試験（ロタウイルス）	<i>in vitro</i>	ブランク減少法
MRSA感染	MRSA全身感染モデル	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（MRSA）	<i>in vitro</i>	生菌数
黄色ブドウ球菌感染	黄色ブドウ球菌全身感染モデル	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	黄色ブドウ球菌皮膚感染モデル	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（黄色ブドウ球菌）	<i>in vitro</i>	生菌数
ヘリコバクター・ピロリ菌（ピロリ菌）感染	ピロリ菌消化器感染モデル	マウス	病変度観察 細菌学的検査
緑膿菌感染	緑膿菌全身感染	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（緑膿菌）	<i>in vitro</i>	生菌数
多剤耐性緑膿菌感染	多剤耐性緑膿菌全身感染	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（多剤耐性緑膿菌）	<i>in vitro</i>	生菌数
カンジダ感染	カンジダ全身感染	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（カンジダ）	<i>in vitro</i>	生菌数
ヘルペスウイルス感染	ヘルペスウイルス皮膚感染	マウス	病変度観察、ウイルス学的検査
	薬剤感受性試験（ヘルペスウイルス）	<i>in vitro</i>	ブランク減少法
大腸菌感染	大腸菌全身感染モデル	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（大腸菌）	<i>in vitro</i>	生菌数
サルモネラ菌感染	サルモネラ菌全身感染モデル	マウス	病変度観察、細菌学的検査
	薬剤感受性試験（サルモネラ菌）	<i>in vitro</i>	生菌数

試験開始から最終報告書提出までの期間は3~4カ月です。



NBR Study Navi は創刊3周年を迎えることができました！
今後とも宜しくお願い致します。